



第1182号
2010年10月24日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

WEB: http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

- ◇10月の代禱・信施奉獻先
- ▽浅草聖ヨハネ教会日曜給食活動のため▽月島聖ルカ保育園のため▽こどものためのミニストリーの働きのため▽教役者緊急援助資金のため(10・17)▽社会事業の日(特定25・24)
- ◇聖信受領
- 10月17日 三光教会
- ▽関口良雅▽宮田晟詩▽藤田誠
- ▽牟田実(三光)
- ◆とこしえの平安
- 9月12日 大隈 家栄(93)
- 10月12日 橋本 英夫(71)
- 聖アモテ
- 聖マーガレット
- ▽五本木九条の会《憲法を学ぶ》「戦争で沈んだ船と人」講師 上澤祥昭。27日(水) 18時

今週・来週の予定
10月24日~11月6日

- 半、聖パウロ教会小礼拝堂。照会 090(8747) 215
- 3・同事務局。
- ▽マーガレット・コンサート
- 定期演奏会 《16世紀の宗教モテット集より》指揮・オルガン 和田純子。11月3日(水・休) 12時。立教女学院聖マリア礼拝堂(同短大卒業生の会主催)。照会 045(491) 15時半)
- 6661・同コンサート事務局。
- ◇秋のバザー(4)
- ▽31日 聖救主(10時~15時)、聖パトリック(11時~14時)、三光(11時半~15時)、神田キリスト・目白(12時~14時)、聖パウロ・聖二・聖マルチン・聖ガブリエル(12時~15時)、聖マーガレット(12時半~15時半)
- 24(日) 聖霊降臨後第2主日
- 25(月) ハラスメント防止委員会常置委員会
- 26(火) 銀座朝教会 人権委員会:日の丸・君が代
- 29(金) 正義と平和協議会運営委員会
- 30(土) 教区合同聖信式 (主教座)
- 31(日) 聖霊降臨後第2主日
- 11月
- 1(月) 教区墓地礼拝
- 2(火) 教区墓地礼拝
- 3(水・休) 第113(臨時) 教区会
- 4(木) 信仰と生活委員会・冊子編集

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

「大きい象さん、小さい象さん」
「大きいお猿さん、小さいお猿さん」
可愛い動物の親子を描いた絵本を見て「大きい」「小さい」との比較表現でしか捉えられない子がいました。親に愛された経験がなく、温かい家庭体験の無い子がいるという現実。これは、仕事の現場、大磯の児童養護施設「エリザベス・サンダース・ホーム」図書室の中で交わされた会話です。

この度の原稿依頼は『神の広くて厚い手のなかで生かされている証し』とありますが、神のみ手を感じるところか、親の愛すらも受けていない子どものいる現実を前

《み手のなかで》

ホームでのひとコマ

忍 小笠原 司祭

に冷静に自分の立場を考えます。
神が人に与えられた五感は、見る、聞く、触れる、味わう、匂う、の5つです。
「み手の中で」とある『み手』は見えも触れも出来ません。神の言葉働きは歴史を形造るに人間の営みを通じて顕されます。聖書が神の言葉といわれる所以でもありますが。社会に対してのホームの働きも時代と共にありますが、イエス様が招かれてあるホームのこども達との関わりの中で、一挙手一投足を通じて、人と人との大切な心の繋がりを知らせたい。

前述の一人のこどもが何時の日にか『み手の中で私は愛されている』と思える日を切に祈り願ひながら。
(退職・エリザベスサンダースホーム理事長)

常置委員会報告(10月12日)
 *10月1日付管理主教に就任、
 14日聖職会、19日〜21日主教会
 (ナザレ)、17日三光教会聖堂聖
 別式他、廣田管理主教報告。

*管理主教学東京教区代務者登記
 手続、財務諸表、フェスティバ
 ル関連、キッドスクール管理運
 営規程その他、主事等の報告。

*2011年度教役者給与に關
 する主教宛待遇調査委員具申
 報告を了承。

*聖パウロ教会提出の伺書、聖
 マーガレット教会提出の教区費
 分担金減額申請書の件を協議。

*主教座聖堂牧師館、事務所、
 主教邸等の修繕の実施を了承。

*2012年官教協議会特別委
 員会設置議案の提出を了承。

*成成鍾・朴美賢両司祭の宣教

師滞在期間の更新、国内伝道強
 化計画書提出を確認。
 *その他

◇教区墓地礼拝(11月・括弧内
 司祭名は礼拝主任者) *1日

(月) 八柱霊園10時(神崎雄二)
 / 染井霊園11時(下条裕章) / 雑
 司ヶ谷霊園11時(佐々木庸) / 上
 川霊園11時(前田良彦) / 谷中
 霊園14時(笹森田鶴) / 青山霊
 園14時(大畑喜道) / 八王子・

東京・南多摩霊園14時(大森明
 彦) *2日(火) 小平霊園

10時半※(井口諭) / 春秋苑10
 時半(神崎和子) / 多磨霊園14
 時(吉野秀幸) ※ 最寄駅西武
 線小平駅前 教区墓地間に無料
 送迎車運行(3台・往路復路とも
 各3便)

《今、この教会では…》

小金井聖公会

9月25日、神様からの青空の
 プレゼントに感謝しつつ、ファ
 ミリーフェスタは開催されまし
 た。子どもと大人の笑顔が重な
 り合う、そんな催しができない
 ものかと、人形劇を行うことと
 なったのです。教会と地域の劇
 団が手をつないでの、初めての
 試みとなりました。

多くの近隣の方々や子ども達と
 共にBBQやゲームを楽しみ、遂
 に「現代座花かご」による人形劇
 が幕を開けました。実に巧みに軽
 やかに、演目は進み会場には、ま
 あるい笑顔があふれました。そし
 て心地よい疲労感と爽快感を残
 してフェスタは幕を下ろしたの
 です。
 (小泉陽子)

【クローズアップ】63

聖公会野宿者支援活動・渋谷

◆6月のある夜、私たちは救急車
 を呼んだ。真暗闇の小屋から外灯
 の下に移された初老の男性は、白
 目をむいたまま意識を失い、激し
 い息をしていた。身体は瘦せてガ
 リガリなのに、右足だけは真っ黒
 に腐ってパンパンに膨れ上がり、
 虫がわいていた。

すぐに病院に搬送されたが、
 1日半後に亡くなった。

野宿の仲間が嘆いた。「俺らの
 命なんてどうでもいいのか」。聞
 けば、この救急搬送の4日前に、
 本人の希望で救急車を呼んだのだ
 そうだ。しかし、結果的には搬送
 されなかった。

「病院から帰るお金を持って
 いるか?」と、受け入れ病院を

探すよりも前に、救急隊員が本
 人に尋ねたそう。周りの若い
 野宿の仲間たちが、有り金を集
 めて「大丈夫だ」と言ったが、
 本人は「いいよ」と断った。

この人は区立公園に暮らしてい
 たが、区がその公園の命名権を大
 企業に売ったことで、他の多くの
 野宿者と共に追い出された。区が
 用意した「代替小屋」は劣悪だ
 が、そこに移らざるを得なかつ
 た。そこで命を失った。

◆私たちの社会が生み出した「弱
 い」人たちが、路上に放り出され
 ている。「ホームレス」というだ
 けで行政のシステムからも除外さ
 れ、挙句に行政によって排除さ
 れ、寝る場所もない。

私たち支援者は、路上という
 最貧困の現場で日々格闘してい

るが、この巨大で深刻な社会問
 題の前に、一個人一団体の力は
 あまりに小さく弱い。

今回、東京教区に「貧困問題を
 考えるプロジェクト」が設置され
 た事は、大きな希望である。「で
 きるかできないか」ではなく、
 「何をすべきか」「どうしたらで
 きるか」を、そして現場に足場を
 置いた活動をと願う。何よりも
 その第一歩として、「聖公会さん
 は、食えない俺らに食事を持って
 きて、困った時すぐとんで来て、
 救急車にも乗ってくれる。イエズ
 スさまだけが、俺らを見てくれて
 いる」…こういう貧しい友がいる
 ことを、東京教区のみなさんに、
 ぜひ知っていただきたい。

渋谷聖ミカエル教会信徒

楡原民佳